

第34回

丹沢クリーンハイク報告集

2011年5月28日(土)・29日(日)

神奈川県勤労者山岳連盟



大倉本部開会式風景



計量風景



後沢乗越水採取



神奈川県大学ワンダーフォーゲル部の皆さん

【後援】神奈川県、丹沢大山クリーンピア21

【協賛】丹沢自然保護協会、丹沢ブナ党、丹沢ドン会、丹沢ゴミ調査会、秦野の自然と環境を守る連絡会、伊勢原の自然と環境を守る連絡会、尾瀬の自然を守る山ゆりの会、相模川キャンピングインシンポジウム、グリーントフ(神奈川県自然観察指導員連絡会)、神奈川の自然と環境を守る連絡会(神奈川グリーンネット)、神奈川県大学ワンダーフォーゲル部、NPOみろく山の会(順不同)

2011丹沢クリーンハイク

平成23年

クリーンハイク実行委員長 渡辺 三男

今年のクリーンハイクは 5月29日(日)に実施いたしました。残念ながら、昨年に引き続き、雨天対応コースでの実施となりました。

半年近く準備してきた実行委員会としては、当日の雨天は本当に残念です。雨の中、林道コースの清掃に参加して下さった方々、誠にありがとうございました。

反省会では、5月末は雨天やヤマビルの多い時期なので、開催時期を秋に変更したらどうかとか、雨天の場合は順延として実施したらどうかとか、雨天の場合の予備日を設定してはどうか等々の意見が多く出されました。

また今回のように、前日に荒天予報(例えば、降水確率80%以上の場合)は、雨天対応コースも中止するという判断も必要であると思います。

第34回 2011丹沢クリーンハイク清掃集計表(集計、柴笛クラブ・吉崎)

清掃場所	山岳会名	参加人数	燃えるゴミ	燃えないゴミ	合計
戸川林道	川崎ハイキングクラブ	4	31.5	33.2	64.7 kg
	アルパインクラブ横浜	1			
	神奈川大学ワンゲル部	8			
	みずなら山の会	5			
	雪童山の会	5			
	M&C	1			
西山林道 (二俣まで)	やま++	1	0	9.1	9.1 kg
	川崎勤労者山岳会	6			
戸川公園周辺	藤沢山の会	2	0.3	0.1	0.4 kg
大山	柴笛クラブ	1	0	1.2	1.2 kg
合計		34	31.8	43.6	75.4 kg

2011丹沢クリーンハイク参加者数 本部 = 15名 救助隊 = 7名 水質 = 24名 清掃 = 34名
スタッフ = 総計、80名

報告集目次

実行委員長挨拶	地平線の会・緑星スキーと山の会	11
クリーンハイク実行委員長 渡辺三男	藤沢山の会	12
清掃集計表・総参加者	横浜こぶしの会	12
水質調査報告・参加者	横浜雪童山の会	12
丹沢山域水質調査結果(過去20年間の推移)	チラシ表	13
水質検査報告書	チラシ裏	14
ゴミの集計(1986年~2011年)	参加者一覧	15
参加各会の感想文と写真	労山自然保護憲章	15
川崎ハイキングクラブ	神奈川県勤労者山岳連盟加盟団体	16
横浜横浜ハイキングクラブ	奥付	16
みずなら山の会		

2011年丹沢水質調査報告

神奈川県勤労者山岳連盟自然保護委員会

5月28日(土)に実施しました丹沢水質調査は、前日から曇りときどき雨の天候でしたが、今年も実施することができました。ご協力いただいた会の皆様、有難うございました。

今回は、前日から雨が降っていたせいか、沢のツメからは大腸菌は検出されませんでした。出合いからは検出されています。湧水では、ゴマ屋敷の水場から大腸菌が検出されました。

また、今回も大腸菌のほかにイオン(NO3-, NO2-, NH4+, Ca2+, Mg2+)濃度やCOD, pH, 濁度, 色度なども調べてみました。昨年と同様に、色度の高い試料があったので色度も表に載せました。

水道水の場合は、一応水質基準が色度5度以下となっています。梅雨時期には、動物の糞尿も含め、いろいろな有機物が沢に流れ込むことも予想されますので注意が必要です。

Ca2+は10~25ppm, Mg2+は2~4ppmの値なので、丹沢の沢や湧水は軟水といえます。

さて、今年は神奈川労山が丹沢の水質調査をはじめて20年になりますが、3月には大地震が起こりその影響も心配されました。5月には、足柄茶の茶葉から放射性セシウムが検出され、丹沢にも放射性物質が降下しているのではないかと思われたので、一の沢とゴマ屋敷湧水の放射性物質の検査もしてみました。東京ニュークリアサーピスによる測定では、両方ともヨウ素131(14.5Bq/kg未満)、セシウム134(4.7Bq/kg未満)、セシウム137(5.3Bq/kg未満)は不検出でしたので、安心しました。これからも、この大切な丹沢の水質を見守っていきたいと思います。

来年の水質調査にもぜひ、ご協力を宜しくお願いいたします。

採水日：2011年5月28日(土) 天気：曇りときどき雨(前日曇りときどき雨)

場所	大腸菌	色度	場所	大腸菌	色度
水無本谷(出合い)	陽性	1.0	一の沢(ツメ)	陰性	11.5
水無本谷(ツメ)	陰性	0.0	一の沢(取水口)	陰性	11.5
源次郎(出合い)	陽性	1.5	見晴小屋	陽性	14.0
源次郎(ツメ)	-	-	見晴水場(東南斜面)	陰性	0.0
勘七の沢(出合い)	陽性	1.5	大倉高原山の家	陰性	12.5
勘七の沢(ツメ)	陰性	0.0	塔ノ岳水場	-	-
後沢乗越の水場	陰性	0.0	大山春岳沢の水場	陰性	0.0
葛葉の泉	陰性	0.0	ゴマ屋敷水場	陽性	0.0
竜神の泉	陰性	0.0			



一の沢取水口

従来はドラム缶(水を引くホースが出ている)からあふれ出ている水を採水していたが、今回はドラム缶に水がたまっていなかったため、パイプに水が入る寸前の水を採取した。



葛葉の泉

丹沢山域水質調査結果(過去20年間の推移)

地図	A	B	C	D	I	J				K		P	E	F	L	M	N	O
採水場所 年月日	水無本谷出合	水無本谷ツメ	源次郎出合	源次郎出合	勘七の出合	勘七の出合	一の沢取水口	一の沢ツメ	見晴小屋	大倉高原山の家	見晴水場	後沢乗越水場	竜神の泉*湧水	竜神の泉*流水	塔ノ岳水場	葛葉の泉	春岳沢水場	ゴマ屋敷水場
2011/5/28				-										-	-			
2010/5/29			-	-										-				
2009/7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-					-		
2009/5/30									-		-		-					
2008/5/24									-		-		-					
07/5/26									-		-		-					
06/5/27									-		-		-					
05/5/28				-					-		-		-					
04/5/29	2	1	9	1	5		戸沢出合	戸沢ツメ	-	1	-	1	-		51			
03/5/24	9	2	11	2	4		戸沢出合	戸沢ツメ	-	3	-		-					1
02/5/25									-		-		-					
01/5/26									-		-		-					
00/5/27									-		-		-					-
99/5/29									-		-		-				-	-
98/5/30							-		-		-		-				-	-
97/5/24							-		-		-		-				-	-
96/06					-	-	-		-		-		-				-	-
95/6/04									-		-		-				-	-
94/6/05		-							-		-		-				-	-
93/6/13	-	-		-					-		-		-				-	-
92/6/14	-	-		-					-		-		-				-	-
91/6/09	-	-	-	-					-		-		-				-	-

今年

(不検出(陰性)、検出(陽性)、調査無し-) 計量の方法 = 上水試験方法

計量の対象 = 大腸菌/100ml (2005~2011年)、大腸菌群数/1ml (2003~04年)

大腸菌群/50ml (1991~2002年)

計量依頼先 = (財)新日本検定協会(1995-2011年)

(株)日本環境クリエイト(1991-1994年)

5月28日(土) 水質調査担当者と参加者数 24名

場所	担当会	参加人数	場所	担当会	参加人数
水無本谷(出合い)	アルパインクラブ横浜	10名	一の沢(ツメ)	地平線の会 & 緑と星山の会	2名
水無本谷(ツメ)			一の沢(取水口)		
源次郎(出合い)	みずなら山の会	3名	見晴小屋		
源次郎(ツメ)			見晴水場(東南斜面)		
竜神の泉			大山春岳沢の水場	藤沢山の会	2名
勘七の出(出合い)	雪童山の会	3名	ゴマ屋敷水場		
勘七の出(ツメ)					葛葉の泉
後沢乗越の水場(沢)	横浜ハイキングクラブ	4名			
大倉高原山の家					



正 本

Shin Nihon Kentei Kyokai

LICENCED BY JAPANESE GOVERNMENT

発行日：平成23年6月6日
報告書番号：第11-CW-00106号

水質検査報告書

神奈川県勤労者山岳連盟 殿

〒222-0033
横浜市港北区新横浜二丁目12-13
TEL：045-473-5815
財団法人 新日本検定協会
SK横浜分析センター



採水場所	丹沢	試験項目	大腸菌
採水者	神奈川県勤労者山岳連盟	試料種類	沢の水
採水日	平成23年5月28日	検査期間	平成23年5月30日から6月6日まで

ご依頼の水質試験結果は下記の通りです。

採水場所	大腸菌	採水場所	大腸菌
水無本谷（出合）	陽性	後沢乗越の水場	陰性
水無本谷（ツメ）	陰性	大山春岳沢水場	陰性
源次郎（出合）	陽性	ゴマ屋敷水場	陽性
竜神の泉	陰性	葛葉の泉	陰性
勘七（出合）	陽性	一ノ沢（取水口）	陰性
勘七（ツメ）	陰性	一ノ沢（ツメ）	陰性
大倉高原山の家	陰性	見晴茶屋水場	陰性
見晴小屋	陽性		

備考：分析方法：.....上水試験方法

試験担当者：尾崎 正樹

本証明書等の内容を他へ掲載する場合は本協会の承認を必要とする。

財団法人 新日本検定協会

HEAD OFFICE：Keikyu No.2 Bldg., 25-23 Takanawa 3-chome, Minato-ku, Tokyo 108-0074, Japan
TEL. 81-3-3449-2611 FAX. 81-3-3449-2636 URL http://www.shinken.or.jp

1986年～2011年のゴミ集計

年	1986	89	90	91	92	93	94	95	96	97	1998	1999																
月	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5																
日	8	4	3	9	14	13	12	28	26	25	31	30																
	可燃物	不燃物		可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計																
戸川林道				16	23	39	118	319	436	(+大倉尾根)	245		133	26	27	53	27	196	223	280	14	294		202	332	534		
大倉尾根				39	52	92				(+三ノ塔)	239		239	25	140	165	16	171	187					19	128	147		
西山林道													16	35	51	70	284	353						6.8	82	89		
県民の森				142	543	685													21	145	166							
塔ノ岳				109	81	189				(オバケ沢)	358	(オバケ沢)	292															
丹沢山													20	130	150													
大山													8.8	61	69	23	60	83	34	89	123	34	100	134	41	246	287	
日向薬師																												
十六丁目																												
岳ノ台													5.2	2	7.2	27	103	130	9	34	43	42	75.9	118	92	31	122	
二ノ塔							0	170	170				102	6.9	218	224	0	619	619	6	341	347	17	1015	1032	10	140	150
三ノ塔				44	77	121	11	45	55		120			2	54	56	8	192	200	15	54	69	8.5	28	36.5	6	11	17
新大日				33	13	46							5	77	82	2.2	6.5	67	0.5	50	51	2.6	302	305	22	147	169	
鍋割山																												
くぬぎ山																												
ヤビツ峠													8	87	95													
その他						45			161										45									
ゴミ量	22袋	23袋	200	326	1217.15		822		722		778		953		1905.6		1098.3		1624.5							1513.1		
参加者(名)	84	134	84	487	169	219	248	199	372	243	322	362																
	9団体	みろく山の会	32名	HAT-Jと共催	NO2調査開始	自然保護団体の参加	前夜祭、シンポジウムに大沢澄雄氏(丹沢自然保護協会)、梶谷氏(丹沢ブナ党)参加	丹沢大山クリンピア21に加盟	前夜祭、シンポジウムに梶谷氏・鈴木澄雄氏(丹沢ブナ党)参加	ブナ観察会	大学WV参加(神奈川県)	森の集会和共催	前夜祭、シンポジウムに白鳥氏(丹沢自然保護協会)和田氏(森の集會事務局)参加	ブナ観察会	大学WV参加(神奈川県)	朝日新聞に掲載し、過去最高の参加(内一般143名)	報告書作成	行政との話し合い(96年11月)	行政との話し合い(97年2月)	クリーンハイク実施後の行政への提案	(山小屋の参加が増えている)	大山、表尾根コースに集中	二ノ塔廃材は回収がほぼ終了した	大学、高校生の参加が増えている	新大日、二ノ塔の集中清掃を実施			



2000			2001			2002			2003			2004			2005			2006			2007			2008			2009		
可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計			
5			5			5			5			5			5			5			5			5					
28			27			27			29			30			29			28			27			25					
28	179	207	90	215	305							0	7.9	7.9	17	23	40	15	16	31	2	0.2	2.5	10	41	51			
74			33	418	451	60	152	212	10	73	83	25	217	243	28	161	189	23	104	127	16	68	84						
																	0						2.7	15	18				
4.5	6	11	10	40	50							7	13	21	14	19	33	14	80	94									
																	0	1	14	15	5	31	36						
															6.5	26	32	15	38	53	2	26	28						
12	21	33	22	56	78	57	152	209	84	139	222	25	123	149			0				11	66	77						
									0	29	29	2	6	8			0				2	5.1	7.5						
									29	339	368						0												
			54	43	97	29	41	70	18	71	90	39	71	110			0				16	108	124						
						51	80	131	13	29	42	16	10	26	5	3	8	3	6	9	2	18	20						
						4	18	22	11	58	68	12	18	30	35	48	83	9	6	15	9	47	56						
			45	100	145	14	105	145	5	50	56	6	36	42	9.5	25	34				4	56	60						
															4	9	13	7	6	13	1	4	5						
															3	6	9	14	9	23	8	16	23	9.4	6.9	16			
16	16	31	6.2		6.2	0	78	78	0	40	40						0												
			49	155	204							4	36	40															
589.5			1405.5			871.5			1107.2			675.7			441			379			523.6			84.8			207		
178			254			351			353			348			380			253			400			85			333		
雨のため規模を縮小、林道を中心に清掃を実施した 新大日、二ノ塔の集中登山を実施(みろく山の会と共催)			雨のため規模を縮小、林道を中心に清掃を実施																					一般参加者は雨天のため中止。林道清掃。粗大ゴミは市に報告。					



参加者の感想

川崎ハイキングクラブ参加者4名の感想文

防水が効かなくなった雨具の上に100均の雨具を着込み戸川林道コースを、若い神大生達とゴミを拾う。林道から沢沿いを覗くと届きそうもない所にゴミが！ 冷蔵庫、タイヤは無理でもロープがあれば少しは綺麗に出来るだろうなと思いながら、竜神の泉迄往復する。お昼には皆で成果を手に大倉へ。雨も又楽し？の一日でした。

岩佐貴美子

想定外の、台風、梅雨入りの影響で生憎の雨、私達のグループは、神大ワンダーフォーゲル部の学生8名 横浜AC1名 川崎HC4名で、戸川林道を大倉から竜神の泉までのゴミ拾いに、行きました。気にしないで歩いているとゴミは見えません。ゴミ探し目線にすると林道脇の草むらや、緩斜面には、空き缶や食べ物の袋等が、急斜面には大型ゴミが捨ててあります。危なく無さそうな場所のゴミを拾いましたが途中で袋は、一杯になりました。思いがけなく見つかったキンランの清楚な美しさと、神大生のボランティア精神が伝わってきた、とても爽やかな一日でした。雨にも負けずヒルにもヒルマズ参加してくれた皆様お疲れ様でした。来年こそは天気に恵まれる事を信じて 来年も参加よろしくお願ひします。

大用ユキ子

クリーンハイクの不動尻コースは中止になりましたが、雨の日も申し込んでいたので、渋沢駅から大倉バス停へ 雨のためカップで出発ゴミを拾いに横道に入ったりしていると神大の学生さんが、最初にヒルにさされて、集まっていると私のカップの上にもヒルが・・・キンランも見られゴミもたくさん集まりましたが、ヒルも私の所に・・・首の所をさされてしまい初めての体験をしました。実行委員の皆様ご苦労さまでした、来年は晴れるといいな～

関口金子

毎年参加している神大の学生さん8人と一緒に行動しました。戸川林道を竜神の泉まで、不法投棄も数箇所ありましたが、側道や斜面に目新しいペットボトル、空き缶が目立ち大きなゴミは、学生が率先して回収してくれました。今年の4年生は来年も社会人ボランティアで、参加しますと言っていました。お疲れ様でした。

清藤秀子

2010			2011			年	
5			5			月	
30			29			日	
可燃物	不燃物	計	可燃物	不燃物	計	総計	
23	35	58	32	33	65	2728	戸川林道
1.5	1.4	3				2541	大倉尾根
24	34	58	0	9	9	955	西山林道
						938	県民の森
						890	塔ノ岳
						278	丹沢山
			0	1	1	1480	大山
						52	日向薬師
						368	十六丁目
						946	岳ノ台
						2883	二ノ塔
						948	三ノ塔
						1591	新大日
						40	鍋割山
1.8	11	13				112	くぬぎ山
	0.2	0.2				349	ヤビツ峠
			0.3	0.1	0.4	545	その他
132			75.4			17554	ゴミ量
94			80				参加者
雨天のため一般参加者は中止。林道を清掃。			雨天のため林道清掃。				kg以下は四捨五入



神大ワンダーゲル部の皆さんと

水質調査 後沢乗越しコース

横浜ハイキングクラブ 伊藤美江子

今回昨年と同じく横浜ハイキングクラブが3名で行きました。大倉までのバスの車窓からは、白く濃い霧がかかっていて、早々と梅雨入りしてしまったのを実感しました。小雨は続きそうだったので、大倉バス停で雨衣を着て出発、気温は朝のうち低かったのに、歩いているうちに徐々に暑くなり、汗だくになりました。悪天候のため、すれ違う人はちらほらいるくらいで、おしゃべりしながら長い林道を行いました。瑞々しい雨にぬれた新緑とたまに赤いツツジがあり、いつも思うのですが、小雨の中でもやに包まれた光景は幻想的です。途中で勘七沢など2箇所、昨年はなかった木製の小さな橋が掛けてありました。

後沢乗越しの採水場所は小滝で、水量も多く、マイナスイオンを浴びながら採水ができる場所です。今年も、きれいな水ですという報告が聞けるといいと思います。

コースタイム 大倉8時45分 - - 二股10時05分 - - 後沢乗越し(水採取)10時35分~10時45分 - - 二股11時05分 - - 大倉12時10分

後沢乗越し水場



後沢乗越し水場



水質調査後沢乗越しコース

横浜ハイキングクラブ 宮原義明

小雨の西山林道は、傘をさして歩けます。時々明るくなると新緑が綺麗です。林道の左右の杉林も伐採されて明るい林道です。四十八瀬川沿いの林道を、ひた

すら歩いて後沢乗越しの水場に到着。採水を終えて写真撮影。大倉までの林道はやっぱり雨の中でした。来年は雨具の要らないクリーンハイクにしてください。

水質調査に参加して

横浜ハイキングクラブ 永野光重

あいにくの雨模様ですが、新緑が綺麗で楽しい林道歩きとなりました。後沢乗越しの水質サンプルの採取も難なく終わり大倉に引き返し、業務完了となりました。

水質調査 大倉高原山の家

横浜ハイキングクラブ 飯島

大倉高原山の水採取に参加した。大倉高原山の家は大倉バス停から約2キロの大倉尾根にあり、この一帯は丹沢で唯一キャンプができるエリアであるが、雨のためかテントは見られなかった。水場の水量は多く、夏場の登山時にはありがたい給水ポイントである。本来は塔ノ岳の水場と2箇所採取する予定だったが、雨のため大倉高原1箇所になった。

数日前から当日の天気予報が雨で、事前に雨でも実施するのか確認したところ、長年続いている水質調査の記録が途切れないよう雨でも実施するとのことであった。

山行を実施するか中止するかを判断するのはリーダーの重要な役割と認識しているが、水採取ではそうではないようだ。雨天の山行は登山道が滑りやすくなるため、好天時に比べて危険度が著しく高まる。参加を申し込んだ際にそのような説明がなかったが、もし雨でも実施という参加条件を知っていれば参加することはなかったと思う。そのため同行予定者2名には参加を取りやめるように指示し、当日は単独での水採取となった。

重大事故が起きる前に、リーダーが山行中止の判断をできるよう改めるか、参加者を募る際に天候の条件をはっきり示していただきたい。



大倉高原山の家水場

雨のクリーンハイク

みずなら山の会 藤本慶子

楽しみにしていた見晴茶屋での前夜祭も中止となり、強い雨の降る悪天候の中でのクリーンハイクとなった。不参加を決めた会も多かったようだが、みずならは個人の判断にゆだねられた。

私は雨中の散歩も嫌いではないし、新緑の美しい林道歩きも気持ち良いだろうと参加した。

大倉に到着してもあまり人影がなく、不安に思いながらビジターセンターを覗くと6人の仲間の笑顔が迎えてくれた。受付を済ませ、雨具に傘、それに靴には塩やヒルジェットを塗りまくり出発した。

我が会は戸川林道の新茅山荘から大倉までの担当。新茅から先の戸沢までは神大の若者グループが受け持つことになった。

「みずなら」は岩、沢山行趣向の人が多く、普段ハイキングや縦走山行をしている私にはそういう方々と一緒に歩いたり話をしたりする機会が少ない。そういう仲間との交流ができる「クリーンハイク」という行事をいつも楽しみにしている。

雨は次第に強くなり、水たまりをよけ、ぬかるんだ道を歩くがあまりゴミは見当たらない。ゴミも泥水の中にかくれてしまったのかも・・・

昼前に大倉に戻り集めたゴミを係に手渡そうとすると「ヒルがいる！」との声。私の手の血を吸っている「ヤツ」が一匹、雨具のズボンにも3、4匹。「エーッ！あんなに塩を塗っておいたのに」大騒ぎしながら周りの人にとってもらう。雨具を脱ぎ、靴も靴下も脱ぎ入念に点検する。

ひと騒動ののち、ヒルに好かれた人好かれなかった人ビールで乾杯しおいしいお蕎麦を食べて解散となった。



源次郎沢出合

雨のクリーンハイク 戸沢林道 新茅荘まで

源次郎沢サンプル採集

2011.7 みずなら山の会 関記

5月28日(土) オーイ(^o^)/雨だよ！沢もサンプル持ってくるのかよ？「その筋の者」に確認したら竜神の泉&源次郎沢入渓点のサンプルを採集することでOKだった！

前日の見晴茶屋での前夜祭も楽しみであった。久しぶりでドンチャン騒ぎが出来るなって思ったら、これまた中止となった。この際みんな中止かと思いきや29日本番には林道のゴミは集めてくるとの事。一般参加者はご遠慮いただくようだ！

しかし、毎回クリーンハイク実行委員の方々のご苦労には頭が下がります。毎年のことだからうまくやって当たり前。チョットなにかがあれば大変な騒ぎになりかねない。一般者も含めた安全の確保・ボランティア保険・役所との折衝・山小屋への挨拶など、創造を絶する努力をして、雨だよ！雨！ク～ッ！マイッタ(-o-)

そんなんで本番当日、車を出して大倉に向かった。すでに多くの人々が集まってヤル気満々？のようだ。なかでも神大のワングル(将来みずなら会員)の若いパワーに期待が集まっていた。おじさんは若い者にすぐ期待する生き物だ！イロイロと挨拶があった後、例によって手袋・トング・ガラ袋の3点セットをそれぞれメイメイがもって持ち場に出発！われわれは後輩の神大ワングルとともに戸沢林道に行く。

ゴミなんか落っこちていないよ！雨が降ってるし！ヒルもイソウだし！往路はゴミなし。バカ言って歩を進めていると、新茅荘に早々と到着。救助隊で参加の入木田さんが本当にヒマだ～って顔してニコニコしていた。そんじゃ～ここでお茶会demoしようかと提案したら、雨だから大倉に帰ってからにするべ～ってことになった。そうだよな！ここでアブラ売ってらんないよな！

復路に入り何にもゴミがないのはチョットな、沽券に関わる問題だ！そういえば、林道の下に多くのゴミが有ると朝の挨拶で言っていたっけ。こうなると「みずなら」の本領発揮。このパターンは変わらない！林道下の急斜面？なんてこたあない。どんどんゴミ袋が膨らんでくる。結果参加者の中でトップの成績で終了した。なんでもトップ！いいね！ここまではササガでしょ！もっとスゴイのは、そうヒルが10～15匹/人付いていた。ヒルよけて、雨だからカッパ&スパッツ履いていたのに・・・しかし、血を吸われた人は居なかった。カッパの裏側・ザックの背中側など小さいのから大きいので居るわイルワの大騒ぎで終了した。俺なんか家でヒル2匹も、とっ捕まえた。

最後にクリーンハイクの関係者様「万歳」「万歳」お疲れ様でした！マタ来年な！

2011丹沢クリーンハイク水採取 みずなら山の会

メンバー：平林(隊長)、安江、森(記)

採取場所：源次郎沢出合、竜神の泉

源次郎沢、去年は二股で右に行く所を左股に入ってしまった、目的を達成できなかったので「今年は間違えないぞ！」と意気込んでいたが、気持ちとは裏腹に天気は悪い方へ進み、沢ツメの採取は中止となる。結果的に去年のリベンジはならなかった。前々日に「みず

竜神の泉



と言いながら、気持ちは「お前ら、みずならの名に懸けて採って来い！」と恫喝しているのがわかるけど「雨の沢は登りたくね～えよ」龍神の泉と沢出合いの採取でOKとなり、車内では和気藹々である。いつもならこれから登る山のミーティングになるのだが、今回は車で済んでしまうので会話も山の話どころか、下ネタ話で盛り上がりキャバクラ状態になる。「あんたも好きネ～」。山岳センターからデコボコの林道を慎重に運転して戸沢で下車。源次郎沢の出合いと復路、竜神の泉の水を採取。大倉へ向かう車内で突然、姫ちゃんの悲鳴「うぁ～ヒルがいた！」全員が車から降りて体をチェック。「ひえ～吸われてる」足は血だらけ、5匹が這いずっている。暫し、ヒル退治と体のチェックになる。散々な目にあい、水だけは無事に本部に届けた。クリーンハイクは天候に恵まれないのが多いので来年こそは青空の下での行事になることを祈る。

ならメール」でchiba部長からは「昨年は小雨でも全箇所実施されました。今まで中止した事はありません！」というメールが送信される。無理しなくてもいいです

ヒル時、一ノ沢水質調査(5/28)

地平線の会、緑星スキーと山の会

雨はそれほど降っていない。11:00渋沢。11:18大倉行きバスにのる。大倉に着くと、小林さんはすでに来ていた。お疲れ様。12:00近く、のこのこと出発。本日の気持ちはやはり「ヒル」。ヒルソックスを持参していたのに、大倉に忘れ、その油断と隙に付け込んだヒル4匹靴のソックスに取りついていて。見晴茶屋で長靴を借り、入口をガムテープできっちりと閉めて、果たして。本日の目的、水質検査をすっかり忘れている。13:00すぎ小屋発。本日は緑星の北野さんと二人して見晴茶屋と大倉高原の家の貯水口まで道を外れないで行けるか心配で、小屋の引き込みホースを見逃さないように「ホースあり?」、「ホース発見」がこの日の合言葉である。ぐずぐずと足場は悪いが、北野さん安心の足取り。一ノ沢が二俣に分かれるポイントを右

にとる。貯水口発見。ほっ。14:05。検査には3人欲しいな。採水の準備する人、水を取る人、写真を撮る人。帰路は尾根に出て、見晴茶屋着13:10。



小さな沢だが、沢歩きが楽しめた



このパイプから、ドラム缶に水がためられホースで各小屋の水場へと行く

一ノ沢貯水口

従来はドラム缶(水を引くホースが出ている)からあふれ出ている水を採水していたが、今回はドラム缶に水がたまっていなかったため、パイプに水が入る寸前の水を採取した。ツメは貯水口のすぐ上で採水。急激に水量が少なくなる。

見晴茶屋に戻り、ヒルチェック!首筋(吸われた)、脇腹(吸われた)、すぐ塩をすり込んでやった。雨具3-4匹、5-6cmのひも状になっているヤツもいる。北野さん、手袋をした手を3か所ほど食われた。後日、お家までおみやにしたこと判明。旦那さんがふる場でこのうごめく物は何だという騒ぎになったらしい。ヒルの話はこの辺にして。

見晴茶屋の水場(小屋の南東斜面にあり、昨年より整備して利用)と小屋内の水を採水して、大倉15:45下山。

小林さん、萩原さんに迎えられてゴールイン。雪童が落石での負傷、AC横浜がまだ下山していないとのこと。

一ノ沢の水質検査今年で3年目となる。見晴と大倉高原山の家で利用している水の貯水口である。弱小会である地平線と緑星が貴重な調査をさせてもらっているのは大変光栄なことだと思っている。

20年にわたり続けてきた水質検査は、担当者の小林さんたちと水質検査を取り組んだ神奈川県労山のメンバーの苦労のたまものである。これからも、安全に留意しながら続けていきたい貴重な取組であると考えている。

地平線の会 磯部津輝子報告。



新緑の美しい一ノ沢

水質調査名水コース

藤沢山の会 池田昭雄

今回の水質調査は春岳沢の水場、護摩屋敷水場、葛葉の泉の3箇所だったが、あいにくの雨。いい口実が出来たと車で巡り、水の採取は午前中に終わってしまった。

なんとも味気ない仕事だったが、夜の見晴小屋が楽しかったので、めでたしと致しましょう。



春岳沢の水場



護摩屋敷水場



葛葉の泉

第34回クリーンハイク感想文

横浜こぶしの会 高橋美鈴

横浜こぶしの会は今回雨天不参加としましたが、その理由として、林道にはごみが少ないこと、ごみのある箇所は斜面に多く、雨天時には危険であること、ヒルが多いことなどです。

又、小屋周りのごみは小屋で片付けて欲しいとの意見もありました。

今回のように荒天時の作業は大変でしたし、ヒルの多さに驚きました。

クリーンハイクは丹沢を美しくすると共に、山岳会同志や山愛好家の交流、団結の場でもあります。私は日頃学生さん達との交流はないのですが、若い方たちの熱心さや、楽しそうに活動してくる様子など目の当たりにし、頼もしく感じました。

可能でしたら、この若い方たちを賛助として、企画、運営にも加わって頂けたらと思いました。

会に属さない一般参加者についてですが、体力等を把握する為に応募用紙に、ここ1,2年の簡単な山行経歴、回数書き込み欄を加えては如何でしょうか。

朝早くから大雨の中、仕事をして下さった救助隊の皆様、学生の皆様、各会の皆様、実行委員の皆様、みんなの協力あつてのクリーンハイクと感じました。

クリーンハイク反省点

横浜雪童山の会 黒井由貴

実行委員になって2回目のCHも前夜に中止が決まり戸川林道清掃となりました。当日、大倉でバスを降りた時“この荒天でもこんなにたくさんの参加者がいるのか”と驚きました。林道を分担制にしたので新茅山荘まで車で入り、林道終点まで傘をさし長靴でせつせと歩きました。救助隊の方に到着の連絡をして所属・人数を確認して頂いてから、林道のゴミを拾いながら大倉まで戻りました。多くの方が口にしていたが、前日の水質調査も雨だったこと、ヒルの被害が多かったこと等からこの時期に行うのはどうかと思いました。反省点としては当日の中止の基準を決めていなかったことがあげられると思います。たとえば午前7時までには県下に暴風警報・大雨警報・洪水警報が発令された場合は林道清掃も中止とするなど、MLを使わなくても判断できる基準を決めておけばよかったのではないかと思います。また、天候だけでなく万が一を想定して多くの方が利用する小田急線が不通の場合の実施の有無を決めておくことも必要なのかもしれません。

今後も微力ではありますが何らかの形で丹沢の自然を守ってゆきたいと思ひます。

第34回

神奈川県勤労者山岳連盟は東日本大震災復興支援活動に協力します。

2011丹沢クリーンハイク

5月29日(日)

震災影響の状況によっては、開催を中止します。

ゴミ収集



計量風景



登山道整備風景



水質調査の為に水採取



集合場所・時間：	大倉バス停	ビジターセンター前	8:00 受付開始	8:30 開会式
	ヤビツ峠バス停		8:30 受付開始	9:00 開会式
	養毛バス停		8:00 受付開始	漸次出発
	伊勢原駅北口		8:00 受付開始	漸次出発

持ち物・服装：・軍手、ゴミ袋は支給します。・お弁当、水筒（飲料）
・雨具、リュック、ハイキングシューズ等

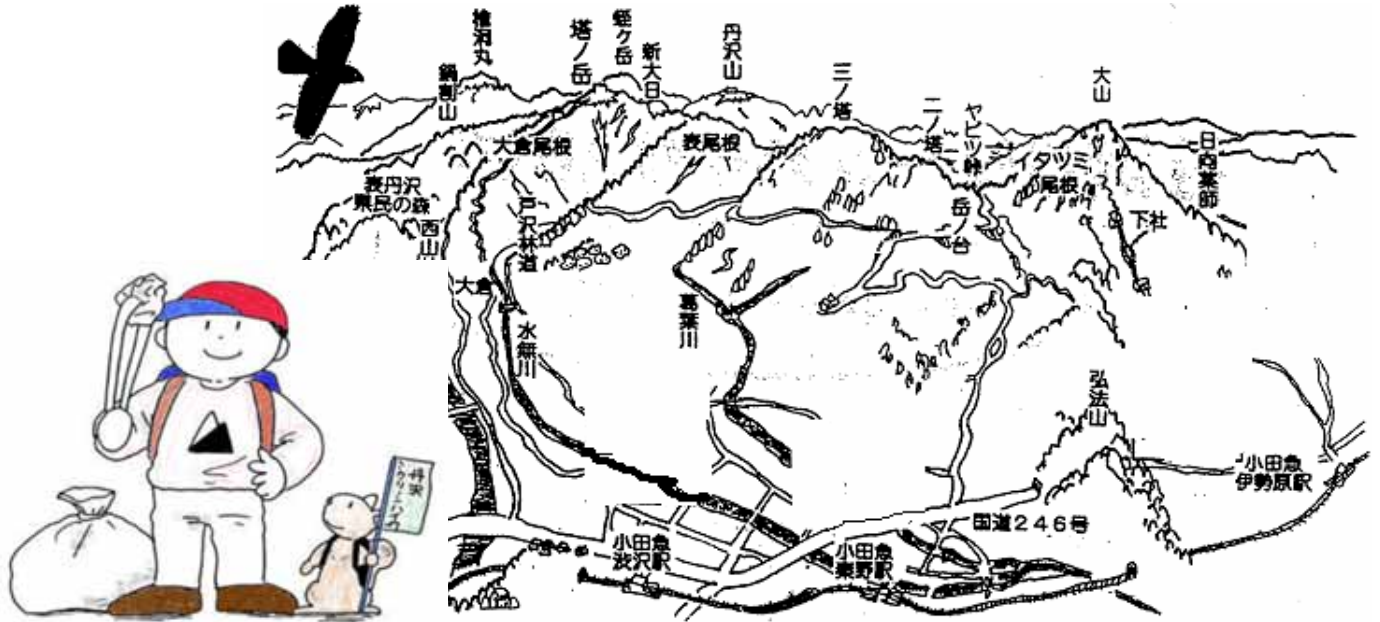
雨天時の対応：・前日(5月28日)の17時横浜地方気象台発表(0465-177)、当日午前中の県西部の予報で降水確率が50%以上の場合は、一般参加者の参加は中止します。

問合せ先：・問い合わせはメッセージプラス(留守電とFAX)とメールで対応いたします。
(メッセージプラス) 050-3488-3765
(メール) cleanhike2011@k-rouzan.net

・前日のキャンセル、雨天時の問い合わせは、事務局 三上045-891-6496

[後援]：神奈川県/丹沢大山クリーンピア21

[協賛]：丹沢自然保護協会/丹沢ブナ党/丹沢ドン会/丹沢ゴミ調査会/秦野の自然と環境を守る連絡会/伊勢原の自然と環境を守る連絡会/尾瀬の自然を守る山ゆりの会/相模川キャンピングシンポジウム/グリーントフ(神奈川県自然観察指導員連絡会)/神奈川の自然と環境を守る連絡会(神奈川グリーンネット)/神奈川大学ワンダーフォーゲル部/NPOみろく山の会



集合場所・時間	コース	清掃場所	ゴミ集積所	歩行時間 目安	体力
大倉 8時30分	A 大倉高原	大倉～大倉高原～堀山の家	大倉	約4時間	一般向け
	B 大倉尾根(花立)	堀山の家～花立山荘	大倉	約5時間	一般向け
	C 大倉尾根(塔ノ岳)	花立山荘～塔ノ岳	大倉	約6時間	健脚向け
	D 丹沢山	塔ノ岳～丹沢山	大倉	約8時間	前夜戸沢泊発
	E 鍋割山	二俣～後沢乗越～鍋割山	大倉	約6時間	健脚向け
	F 新大日	戸沢出合～新大日	大倉	約5時間	健脚向け
ヤビツ峠 9時	G 表尾根三ノ塔	二ノ塔～三ノ塔～大倉	大倉	約4時間	一般向け
	H 岳ノ台	ヤビツ峠～岳ノ台	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	I イタツミ尾根	ヤビツ峠～大山	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	J 不動尻	大山～不動尻～広沢寺温泉	不動尻	約4時間	会員向け
蓑毛 8時30	K 大山裏参道	蓑毛～裏参道～大山	ヤビツ峠	約4時間	一般向け
伊勢原駅北口 8時30	L 大山下社	下社～大山	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	M 大山見晴台	下社～見晴台～大山	ヤビツ峠	約3時間	一般向け

雨天時は、労山会員は大倉8時30分集合で西山林道、戸沢林道、大倉尾根を清掃します。

申込先・方法

(郵 送) 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3F

神奈川県勤労者山岳連盟 クリーンハイク実行委員会宛

(メッセージプラス) 050-3488-3765

(メール) cleanhike2011@k-rouzan.net

申込み締切 5月20日(金)まで

(切り取り)

2011年丹沢クリーンハイク・参加申込書

(参加者1人につき申込書1枚です。)

フリガナ		性別	生年月日(西暦)・年令	
氏名		男・女	年 月 日 (才)	希望 コース
住所	〒			所属団体 (あれば)
	連絡先電話:			
	メールアドレス:			

ご記入いただいた個人情報は保険加入時、報告書、ご案内の送付のみに使います。

2011クリーンハイク・水質調査の参加者

参加者(敬称略)

神奈川大学ワンダーフォーゲル部	伊藤、幸路、佐藤、相崎、小澤、小林、石川、北見
川崎勤労者山岳会	長野、森、森川、佐藤、森、リ、小林
川崎ハイキングクラブ	大用、岩佐、清藤、関口
川崎柴笛クラブ	吉崎、砂原、海輪、大澤、松本
アルパインクラブ横浜	仙頭、大日方、城倉、安田、安田、長谷川、岩田、内藤、神谷、守下、大久保
横浜ハイキングクラブ	伊藤、飯島、宮原、永野
横浜こぶしの会	高橋、三上
藤沢山の会	萩原、高橋、保坂、池田、木村
小田原ナーゲル山の会	森谷
相模アルパインクラブ	渡辺、田村
みずなら山の会	千葉、関根、鈴木、小川、上野、藤本、関、森、平林、安江
緑星スキーと山の会	北野
カモの会	永井
雪童山の会	黒井、青木、川口、北野、樋浦、小緑、横田、酒井
地平線の会	磯部
やま++	柴田
山ブキの会	青柳
M&C	岡崎
救助隊.....	海輪・大澤・松本(柴笛)、後藤(県連)、田村(相模AC)、小林(川崎労山)、入木田(みずなら)

実行委員 長野(川崎労山)、大用・鈴木・吉岡(川崎HC)、吉崎(柴笛)、仙頭・大日方(AC横浜)、伊藤(横浜HC)、高橋・三上(こぶし)、高橋・萩原・渡辺力(藤沢山)、森谷(ナーゲル)、渡辺(相模AC)、千葉・関根(みずなら)、北野(緑星)、永井(カモの会)、黒井(雪童)、磯部(地平線)、柴田(山++)、青柳(山ブキ)、岡崎(M&C)

労山自然保護憲章

登山は、自然と関わりが深い「スポーツ・レクリエーション」であり、豊かで多様な自然の中で発展してきました。山岳自然は人為に対して極めてぜい弱であり、一度破壊されると容易に復元しない特性があります。ところが近年、山岳自然の荒廃がめだち、登山文化がそこなわれる情況が生まれています。

日本勤労者山岳連盟(労山)は創立(1960年)以来、登山者の使命として自然保護問題に正面から取り組み、各地で自然を破壊し登山を阻害する開発に反対してきました。また、「山からゴミを一掃しよう」と取り組んだクリーンハイク運動は、登山者のモラルを高め、世論を動かし、山のゴミは著しく少なくなってきました。

かつて山岳自然保護の主な課題は乱開発から自然を守ることにありました。しかし、今やオーバーユース等の利用者自身による問題や、地球温暖化、酸性雨・霧など地域・国境を越えた地球規模の環境問題も重視されるようになり、自然を汚染・破壊する原因は多様・複雑になってきました。

そこで私たちは、登山文化の継承発展と、山岳自然と登山者との新しい共存をめざし、ここに「労山自然保護憲章」を定めます。

- 1 登山活動を通して、自然を見る目をやしない、自然の変化をとらえ、山と地球規模の環境保全に寄与します。
- 2 山を汚さず、山をいためず、傷つけた山を復元す

る努力は登山者の務めです。

環境への影響を最小限にするため、「自然を傷つけない登山技術」を求め普及していきます。

- 3 多数が同時に行動する集団登山は自然への負担が大きいので、自然を傷つけないように創意工夫して取り組みます。
- 4 山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実にもとづいた判断で自然がそこなわれないよう努めます。
- 5 クリーンハイク運動に参加し、登山者のモラルを高め山からゴミを一掃します。そこでつちかった力で、さらに多面的な自然保護活動を広げていきます。
- 6 山を汚染しない排泄物の処理方法や自然環境に配慮した山小屋やトイレを考え、山域にふさわしい対策の実現をめざします。
- 7 自分の好きな山「心のふるさとの山」を持ち、山の自然を学び、地域との交流や山麓の文化に触れるなど、自らの登山スタイルをめざします。
- 8 登山道、山小屋など施設整備は、自然への負担を最小限にとどめることが大切です。それらの設置・運営にあたっては、国や自治体、住民や所有者、登山者の合意形成を求めています。
- 9 住民や利用者の声を無視した「入山規制」、「入山料」ではなく、その声を生かした自然の保全管理を進めるよう国や自治体、所有者に求めています。

2006年2月19日 日本勤労者山岳連盟

神奈川県勤労者山岳連盟加盟団体

	団体名	ホームページ・問い合わせ先
1	川崎勤労者山岳会	http://www.geocities.co.jp/kawasaki/rousanhp/ 問合せ先 = ホームページ参照
2	川崎ハイキングクラブ	http://homepage2.nifty.com/kawasaki_hc/ 問合せ先 = ホームページ参照
3	川崎柴笛クラブ	http://www.shibabue.com/page/page-1.htm 問合せ先 = ホームページ参照
4	アルパインクラブ横浜	http://acy.jpn.org/ 問合せ先 = ホームページ参照
5	横浜ハイキングクラブ	http://yokohamahc.web.infoseek.co.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
6	横浜こぶしの会	http://www.justmystage.com/home/smikami/ 問合せ先 = ホームページ参照
7	藤沢山の会	http://outdoor.geocities.jp/akio_saito21/ 問合せ先 = ホームページ参照
8	小田原ナーゲル山の会	http://nagel.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
9	相模アルパインクラブ	http://sagamiac.sakura.ne.jp/ 問合せ先 = ホームページ参照
10	みずなら山の会	http://home.h02.itscom.net/mizunara/ 問合せ先 = ホームページ参照
11	緑星スキーと山の会	問合せ先 = 県連事務局
12	さがみ山友会	http://www.geocities.jp/sagami_sanyukai/ 問合せ先 = ホームページ参照
13	カモの会	http://www.kamonokai.com/ 問合せ先 = ホームページ参照
14	雪童山の会	http://yukiwarabe.main.jp/wp/ 問合せ先 = ホームページ参照
15	地平線の会	http://www.geocities.jp/tiheisen2004/ 問合せ先 = ホームページ参照
16	やま++	http://yamaplpla.hustle.ne.jp/xoops/ 問合せ先 = ホームページ参照
17	山ブキの会	自然を愛し仲間と楽しむ。入会条件無し。 問合せ先 = 県連事務局
18	山岳素行童人メーグリ家	フリー、沢、アルパインクライミング等 問合せ先 = 県連事務局
19	山の会 おるた!	オールラウンド(アルパイン・沢・ハイキング) 問合せ先 = 県連事務局
20	M & C	http://blog.mandc.moo.jp/ 問合せ先 = ブログ参照



第34回丹沢クリーンハイク報告集

2011年8月29日発行 600部

神奈川県勤労者山岳連盟自然保護委員会 クリーンハイク実行委員長 渡辺三男

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2永田ビル3F TEL&FAX 045-434-2726

<http://www.k-rouzan.net/>